

## 阪神都市圏の発展に拍車 国連調査 結論出る

一昨年夏に引き続いて、さる5月21日から6月15日まで日本・国連両チームの手によって行なわれていた「阪神都市圏計画調査」の最終結論が、このほど公表されました。

府県や都市の境界をこえて密接につながる阪神都市圏の総合的な発展をはかるため、阪神・隣接両都市協議会の主催で、世界の専門家と日本側学者チームが2年間にわたって、ぼう大な資料に基づく熱心な討議、研究を重ねてまとめられたもので、政府に対しても、先月15日に阪神都市圏のあるべき姿について意見や提案として提出されました。



熱心に討議を重ねる日本・国連両チーム

【経済発展と交通】…国の所得倍増計画の中で、重要な役割を果たす阪神都市圏の経済力をこんご十分に伸ばすためのいろいろな対策。たとえば、地下鉄や高速自動車道路の建設促進、国際空港の整備、阪神都市圏内の国私鉄など大衆輸送機関の協力態勢、駐車場施設の整備など急増する自動車対策など

度を参考とした、低家賃住宅に対する国の補助政策の強化や、ますます取得難となっている住宅用地の確保、個人住宅に対する融資制度の改革案など。

【土地及び水資源】…阪神地区の将来の発展にそなえて、土地利用計画の確立をはかるため、工場用地商業・金融地区の整備や公園・運

動場などレクリエーションのための用地確保、急激にふえる上水道・工業用水道用水に必要なびわ湖など水資源の開発、市民生活をおびやかすつつある水・大気汚染対策など。

【行財政】…以上のいろいろな対策をスムーズに処理、実現していくためには、政府と関係府県・市町村

がいっそう緊密に連絡をとって協力体制を強化し、強力な調査研究機関を設けるとともに、中心となる大阪市や神戸市が指導的役割を果たさなければならないことなどを指摘しています。しかし、なんといっても、関係団体はもちろん市民の理解と協力によらねばならないことが強調されています。

## 大阪城へ190万人

経済局では、こんど、大阪を訪れた内外の観光客についての調査をまとめました。

純粋の観光客は、交通機関の複雑さのためつかみにくいで、大阪の代表的な観光施設、大阪城天守閣の訪問客のみを対象に調査を行なったものです。大阪城訪問者は年々ふえる傾向にあり、36年には189万9000人と5年前に比べて約40万人の増加になっています。

観光客の3分の1を占める修学旅行生は近畿各地・中部・関東・中国地方から多く訪れ、四国からは近距離のわりには少なくなっています。

また、宿泊する生徒数は大阪へ来た生徒数の半以下という数字から、素通り旅行生の多いことがわかります。

### 30億円に上る外客消費

修学旅行以外の一般団体客は年間平均11万人ですが、年々ふえてきています。

個人客の約8割は観光で、次いで商用公用を兼ねた観光客、大阪市民も相当数大阪城を訪問しています。

外人客については、35年の統計に

よると全国で21万人、延べ宿泊者は186万余で、その約8%に当たる15万人を大阪が占め、その消費金額も30億円に上ると推定され、外人観光対策の重要性を感じさせます。

また、大阪市内や近郊の工場を見学する産業観光は昨年の夏からはじめられてすでに3000人の見学者を数え、観光資源に乏しい商都大阪の新しい観光分野として、注目と期待が寄せられています。

### 観光バスで工場見学へどうぞ

経済局と大阪観光協会では、製菓・製菓・電気・ガス・造船など大阪の近代工場を観光バスで見学する第4回産業観光めぐりを今月10日から来月末まで開催します。また、年間を通じ毎週水曜日に出発する特別コースも組んでいます。

▶申込み先…大阪駅前の第一生命ビル1階の市観光案内所内観光協会、日とコースをお開きのうえ前日の4時まで直接または電話(312-2189)で。また、書面での申込みは3日前までに到着するこ

と▶出発…当日正午。15分前に同観光案内所前集合。解散は午後5時▶参加費…1人 100円▶定員…各コースとも50名▶対象…1名または10名以内のグループ▶見学制限…見学工場と同業のかたや同伴者のない中学生以下のかたはご遠慮ください。なお食事の用意はしていません。

### 商業統計調査

7月1日現在で商業統計調査が行なわれます。この調査は全国いっせいに卸売業、小売業を営むすべての商店や飲食店が対象です。

調査の目的は、商店の分布状況や商業活動などの実態をつかみ、適切な商業政策をたてるうえの基礎資料



### 夜間開場 9時まで

夕涼みのシーズンです。大阪城天守閣では、7～8月中毎夜9時(キップ発売は8時半まで)までひらいています。

### 7階に武具室

また、天守閣7階の郷土先賢肖像画室を武具参考室に改装する5月開催の武具百展に陳列したヨロイ・カブト・鉄砲刀剣類など約50点を陳列しています。

とするもので、調査項目も所在地・経営組織・従業者数・販売額などたいせつなものばかりです。

大阪市では昭和25年以来、2年ごとに行なわれ、今年が7回目になります。今回の調査は全区約10万の店について2500人余の調査員が行なう大調査です。

実地調査は今月上旬から中旬にかけて行なわれ、調査員が直接お店にうかがって調査票の記入をお願いすることになっています。

### 就業構造基本調査も

同じく7月1日現在で就業構造基本調査が行なわれます。国民の就業不就業の実態やその流動状況などを明らかにするためのもので、3年ごとに行なわれています。今月上旬から中旬にかけて区役所から調査員がうかがいます。

以上2つの調査は徴税など調査目的以外のことに悪用することは絶対にありませんから、正しい資料作成のためにご協力ください。



### 築港公債 —1901年—

今でも、大阪港を「築港」と呼ぶ人がずいぶん多い。それは、大阪港が人工の港であると同時に、大阪港の歴史が「築港」の連続であるからである。

大阪港の開港は、明治元年7月15日であるが、それは大型汽船の出入に不自由な川口波止場のことで、今の天保山や中央突堤付近の築港工事に着手したのは、明治30年10月のことである。(カットは起工式)

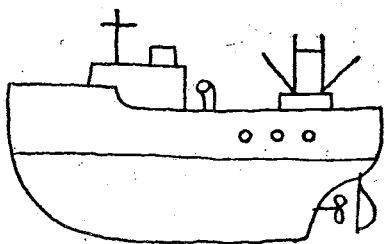
築港によせる市民の熱意や意気込みは、当初の8年計画の予算額2200万円が市の普通予算の約20倍にもあたることや、田村市長の年俸3000円に対し、西村築港事務所長が6000円沖工事が4000円であったことから容易にうかがわれる。

築港公債は、この事業費2200万円のうちの1700万円で、うち300万円が明治34～5年ロンドンで発行された。これが本市外債の初めで、ことしの2月、港湾整備の資金として、西独で45億円のマルク債を発行したことはご存じのとおりである。

築港の名はしだいに消えつつあるが、伸びゆく市勢とともに大阪港の築港は永久に続いてゆくであろう。(次回水源池)

大阪港  
開港95  
年記念

## 港まつり



◆ことしは大阪港湾管理者設立10周年になります

### 恒例の大花火大会

14日 日没から 港区弁天町駅前広場で  
仕掛け打上げなど数百発 雨天順延

### ランチで港内めぐり

15日 午後1時～4時 中央突堤から随時  
乗船 無料 多数お越しください

### 船艇大行進

15日 午前11時30分 中央突堤先端  
船艇30隻が参加する大パレード



別府へ  
高松へ  
白浜へ  
州本へ  
みなと遊園へ

【問題】次の文中の□と○に漢字とかなをそれぞれ下のヒントにより入れ、標語にしてください。

①□の○は□ら

【ヒント】①日本で、サンフランシスコの姉妹都市②ベルがなった。□車の時刻だ。③絵の□覧会。④船がつくところ。⑤夏がくると出てくるむし

【答は】ハガキに住所・氏名・年令・職業も書いて大阪港局区内大阪市港湾局振興課あてお送りください。締切り…7月末日

【賞】正解者には抽せんで次の賞を差上げます。別府行き1等1名、高松行き1等3名、白浜行き水中翼船5名、州本行き水中翼船10名、淀屋橋～みなと遊園の観光艇乗船券及びみなと遊園招待券(入園券・のりもの券つき)100名

(いずれも8月中有効の往復乗船券。関西汽船・南海汽船・大阪通商運輸・大阪港振興KIC協賛提供)